

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	10 05 11	中期総合計画主要施策番号	-			担当課	部・課	建設部 河川課	
事業名	ダム管理事業						内 線	3442	
							E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S.55 ~	根拠法令等	河川法60条、各ダムの管理に関する協定書						
実施方法	直接実施、専門技術者への委託等（負担金）							国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的（必要性）	ダム施設での洪水調節により、ダム下流の災害を未然に防ぐとともに下流の利水供給を図るため、ダム施設の適切な管理を行う				
	対 象	県管理16ダム				
	目指すべき姿	洪水防御計画による治水能力の確保、利水計画による利水供給の維持、流水の正常な機能を確保できるように機能維持を図る。				
	事業内容	・ダムの諸設備を適正に機能させるための点検、整備、補修等の施設管理に関する業務 ・洪水調節、利水補給、流水の正常な機能維持に関する業務				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 委託料：148,417千円（放流関係設備点検等委託等）
	最終予算額（A）		千円	638,512	616,040	559,627	
	決 算 額（B）		千円	578,330	611,088		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	0	11,860	0	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	41.00	41.00	41.00	
	概算人件費（C）		千円	-	-	-	
概算事業費（B(H24はA）+ C）		千円	578,330	611,088	559,627		

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (指標効果算出式) 決算額(H24概算事業費) / ダム総貯水容量62,510千m3
	管理ダム数(活)		ダム	16	16	16	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> ダム総貯水容量千m3あたりのコスト		円	9,252	9,776	8,953	

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	計画に基づいた洪水調節や利水供給を行う。			・近年では横川ダム・片桐ダムにおいて、洪水調節を行い、ダム下流部の洪水を未然に防止した。 ・ダムに依存する水道は県水道取水量の9.8%(H20水道統計調査)を占め、主に都市部の水道供給を行った。			b 期待どおり

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・ダムの治水・利水機能が低下した場合、県民の社会・経済活動に甚大な影響を与える。 ・一級河川の指定区間として河川管理者(県)の責務を果たすべく治水事業を行わなければならない。 ・確実なダム機能発現のため計画的な事業執行に努めている。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	ダムの適正な維持管理は、ダム機能を保持するとともに、長寿命化を図るものである。 建設から最長40年経過しており、特に電気・機械設備の老朽化が著しく、確実なダム機能発現のため、引き続き計画的な設備更新が必要である。 堆砂による機能低下が懸念されるダムについては、恒久的で持続可能な堆砂対策を検討している。				
	特記事項					